

# 富医ニュース

No.609 令和4年5月1日

一般社団法人 富田林医師会  
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38  
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858  
E-mail : mail@tondabayashiishikai.jp

夏野菜の苗植えも一段落し、ますますと春めてきた今日この頃です。昨年4月より医師会の総力をあげて実施してまいりました新型コロナワクチン集団接種事業ですが、春・夏・秋・冬と大きな接種事故もなく一年が経過致しました。三回目接種率の低下が叫ばれる中、本医師会管内での接種率は高水準を保っており、皆様のご協力の賜物と考えます。現在感染者は高止まりの状態ですが、今後新たな変異株の出現も予想されまだまだアフターコロナには遠い道のりのように思えます。

長きにわたり出務協力をいただきありがとうございました。なお、今後の4回目接種を見据え、引き続きご協力の程よろしくお願いたします。

新型コロナワクチン 3回目摂取率

富田林市	59.8%
河南町	73.0%
太子町	66.1%
千早赤阪村	77.3%

(令和4年4月26日 現在)

## 富田林医師会学術講演会

日時 2022年5月19日(木) 14:00~15:00

会場 ハイブリッド形式

- 富田林市民会館(レインボーホール)大会議室
- WEB

座長 とねクリニック 刀禰 央朗 先生

講演 「外科的手術に代わる大動脈弁狭窄症に対するTAVI治療」  
～聴診から診断、治療適応までポイントお伝えします～

演者 近畿大学病院 循環器内科 医学部講師

水谷 一輝 先生

TAVIは開胸することなく患者さんの血管からカテーテルで生体弁を心臓の中まで運び留置する革新的な治療法として2013年に本邦導入となり、大動脈弁狭窄症の治療を必要とする患者さんにとって新たな治療選択肢として確立していますが、これまでは開胸手術が可能な患者さんは適応対象外とされてきました。

しかし、2019年多施設国際共同試験によりTAVIの開胸手術に対する優越性が示され、すべての症候性大動脈弁狭窄症と診断された患者さんの治療選択肢として、同年に欧米諸国にて承認、2021年には日本においても承認取得されました。

大動脈弁狭窄症は心臓弁膜症のひとつで放置すると心不全などに発展し、動悸、息切、胸痛、失神といった自覚症状が出てくると突然死を引き起こすなど生活の質を著しく悪化させる疾患です。

本講演会では患者さんが適切なタイミングで治療を受け、再び健やかな日常生活を取り戻せるように診断のポイントをお伝えできれば幸いです。

※TAVI=Transcatheter Aortic Valve Implantation 経カテーテル的大動脈弁置換術  
※府医生涯研修として1.0単位:CC19(身体機能の低下)申請中です。

生涯教育チケットをご持参頂きますように。

## 調 整 日

4月分 5月6日(金)  
PM3:00まで

5月分 6月8日(水)  
PM3:00まで

## 5 月 の 予 定

- 2日(月)・休日診療委員会
- 6日(金)・調整日
- 10日(火)・学校医部会
- 16日(月)・訪問看護ステーション  
運営委員会
- 19日(木)・学術講演会  
ハイブリッド形式
- 20日(金)・理事会(20:30~)
- 24日(火)・感染症対策委員会
- 27日(金)・広報調査委員会
- 30日(月)・広報調査委員会  
(校正)
- 31日(火)・総会  
・休日診療委員会

## 4 月 行 事 ・ 会 合

- 7日(木)・調整日
- 8日(金)・理事会(20:30~)
- 18日(月)・訪問看護ステーション  
運営委員会
- 21日(木)・学術講演会  
(WEB・座学)
- 22日(金)・広報調査委員会
- 25日(月)・耳鼻科医会
- 26日(火)・広報調査委員会  
(校正)

## 令和4年4月 定例理事会

日時 令和4年4月8日(金) 20:30より  
場所 医師会 大会議室

### 会長代行挨拶

### 報告事項

- 1) 府医会長選があり、4月23日選対開きに参加予定
- 2) 参議院選 自見はなこ氏、松川るい氏を府医は推薦
- 3) 3回目接種の状況について 5月の集団接種はなし  
子供は3月富田林市1回目15%弱(コロナ接種W.G.)
- 4) 令和4年度診療報酬改訂における施設基準の届出について
- 5) オミクロン株感染者の発生場所毎の濃厚接触者の特定及び行動制限について
- 6) HPVワクチンのキャッチアップ接種の実施について
- 7) 新型コロナワクチン追加接種(4回目接種)の体制確保について
- 8) 新型コロナウイルス感染症陽性患者に対する保健所を介さない健康観察等業務に関して
- 9) 富田林薬剤師会会長交代について
- 10) 太子町予防接種健康被害事故調査委員会の推薦について(依頼)→藤岡洋先生 児嶋先生
- 11) 大阪府南河内保健医療協議会委員の推薦(依頼)→藤岡洋先生
- 12) 令和4年度母子保健事業への医師執務について(千早赤阪村)→藤岡雅司先生
- 13) 高齢者保健福祉計画等推進委員会委員の推薦について(依頼)→赤松先生
- 14) 大阪府立高等学校の健康診断にかかる眼科医・耳鼻咽喉科医の推薦について(依頼)→耳鼻科:山本秀文先生 眼科:佐藤先生

### 協議事項

- 1) 入退会の件  
入会 4/1 A2B 汐見幹夫(PL病院 内科)  
A2B 頼前 玲  
(やまだ脳神経外科 脳神経外科)  
4/6 A2C 嶋田剛士(富田林病院 研修医)  
退会 3/31 A2B 岩橋啓介(結のぞみ病院)
- 2) ウクライナ国民への医療支援について
- 3) 診療報酬改定における届出について



### 専門医より一言

「ARNIがもたらす  
高血圧診療の新潮流」

石切生喜病院 堀尾 武史 先生

現行の高血圧治療ガイドライン(JSH2019)では、一般的な高血圧患者の降圧目標は130/80mmHg未満である。しかしながら、その達成率は20%台との報告もあり、目標降圧の達成はまだまだ十分とは言い難い。降圧薬の適応では、心疾患を合併したり、慢性腎臓病や糖尿病などで蛋白尿を有する高血圧患者では、レニン・アンジオテンシン系(RAS)阻害薬の使用が推奨されている。すなわち、心保護や腎保護にはアンジオテンシンIIを主体としたRASの作用を抑制することが重要である。アンジオテンシンIIは心臓、腎臓、血管、副腎等に作用して、血圧上昇のみならず様々な臓器障害に関わるが、アンジオテンシンIIの真逆の働きを示すのがANP、BNPといったナトリウム利尿ペプチドである。ナトリウム利尿ペプチドは血管拡張、ナトリウム利尿を介して心負荷を軽減するが、心臓局所でリモデリング抑制などの直接的な心保護作用も発揮する。

ARNI(angiotensin II receptor-neprilysin inhibitor)は、ANP、BNPなどの分解に関わるネプリライシンを阻害するサクビトリルと、ARBであるバルサルタンを1:1のモル比で含有する化合物で、わが国では2020年に心不全治療薬として上市され、昨年9月からは高血圧症にも適応が拡大された。ARNIの特徴のひとつとして、従来のARBの働きにナトリウム利尿すなわち塩分排出効果も併せ持つことにより、血圧コントロールが容易でない食塩感受性高血圧患者等の夜間～早朝血圧コントロールにも大きな効力を発揮することが挙げられる。安全性の面では、副作用発現頻度が従来のARBと変わらないことから、ARBと同様のレベルで心配なく使用できる薬剤と考えられる。日常診療では、ARBからの切り替えやCa拮抗薬への上乗せ(あるいは切り替え)などを軸に、比較的早期の段階から幅広く使用できる降圧薬であり、ARNI(エンレスト)の登場は高血圧の診療に新しい流れをもたらし得るものと期待される。

- 会員数(5月1日現在) 177名  
A会員 94名 B会員 82名 C会員 1名
- 入会 4月1日  
頼前 玲 A2B(やまだ脳神経外科クリニック脳神経外科)  
4月6日  
嶋田 剛士 A2C(富田林病院 臨床研修医)
- 退会 3月31日  
岩橋 啓介 A2B(結のぞみ病院)  
葛原 延彦 A2B(結のぞみ病院)  
原田 正文 A2B(結のぞみ病院)
- 異動 なし

### 広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	今城 幸裕
	植村 匡志	江村 俊也	奥野 敦史
	尾多賀 雅哉	遠山 佳樹	中村 元
	藤岡 洋	山本 善哉	山本 秀文